

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第2回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和元年7月31日(水) 9時30分～11時15分
開催場所	高松市役所 11階 113会議室
議 題	(1) 第7次高松市行財政改革計画 平成30年度実績報告について (2) 令和元年度外部評価対象事業について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記の理由	
出席委員	石川委員、肥塚委員、後藤委員、近藤委員、関委員、竹内委員、 角田委員、奈良委員、西村委員、人見委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び審議結果

会議公開の確認後、次の議題について協議した。

(1) 第7次高松市行財政改革計画 平成30年度実績報告について

<主な質疑等>

(委員)

重点取組の指標である「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」が昨年より低下し、90%を下回ったが、90%以上に戻すのは難しいのか。

(事務局)

目標値は100%であり、悪い数値であると認識している。今後は、理解度の低い局や職種に対して、効果的な研修を受講できるよう支援を行うなど、所属での取り組みを強化する方策を検討したい。

(委員)

市民に期待される行政サービスは年々複雑多様化してきている一方で、厳しい財政状況の中、職員数の適正化(減員)が迫られていると思うが、職員一人当たりの業務負担が過剰になると、コンプライアンス意識が低下する可能性が高まるのではないか。

(事務局)

職員数とコンプライアンスの相関関係について、検証が必要かもしれない。適正化計画では職員数の削減を主眼に、人件費の抑制を図ったが、平成29年度からは定員管理計画により、最適な定員の管理を行うこととし、必要な採用を行っている。

(2) 令和元年度外部評価対象事業について

次の4事業を外部評価対象事業とし、事務局から、それぞれの事業概要の説明を行った上で、委員から外部評価当日までに必要な資料等の意見を求めた。

- ・ふるさと高松応援寄附促進事業
- ・災害援護事業
- ・障がい者スポーツ推進事業
- ・たかまつマイロード事業